



ROTARY CLUB OF MITO

THE JOYO BANK, LTD.

2-5-5 MINAMI-MACHI MITO IBARAKI 310-0021 JAPAN
029 (225) 4820 FAX: 029 (225) 4825



雑誌委員会

副委員長 磯崎 寛也

2016年1月12日

雑誌委員会 月報 (2016年1月)

ロータリーの友 1月号読後感想

磯崎寛也

今月号の最も重要な記事は、職業奉仕についての特集「職業奉仕を実践」(P.7~14)です。具体的には、教職員の企業研修や起業家支援、子供達との対話交流会等の例が挙げられていて、P.14には定款第5条の文章が引用されています。職業奉仕 (Vocational Service の翻訳) という言葉は、私たち日本人には非常に難しいと感じられます。VOCATION は JOB や BUSINESS と異なり、神から与えられた仕事という意味合いがあります。そして SERVICE のニュアンスは日本人にはピンと来ない。それは、キリスト教的土台が無いからでしょう。この理解しにくい二つの言葉の組み合わせによって、職業奉仕といっても何をすればいいのかわからなくなってしまうのです。しかし、ラビンドラン RI 会長の今月号のメッセージ (P.3) は、あえてヒンドウ教の聖人の逸話を引用し、ロータリーの奉仕の精神は、宗教の違いを超えたものであることをやんわり伝えています。これはまさに、職業奉仕とは何か? という問いに対する適切な助言であると思います。

さて、私の好きな特集記事に「世界のロータリーニュース」があります。(P.21~22) ここには、世界中の様々な国の活動がのせられています。例えば今回は、「パキстанは肥満の多い国だが、ボディビルダーのコンテストによってポリオへの注意を喚起できる」。また、イギリスでは「紙粘土の象を街に展示し、ハリーポッターの女優等にサインをもらい、関連商品の売上げを一部イタリアの象の保護施設の建設支援にあてる」とあります。とてもユーモラスでおかしいです。P.45~55 のロータリーアットワークはいつもながら国内のローカル色の強い活動が読んでいて楽しいです。例えば、2750 地区ではライラにクマモン登場、名古屋北では名古屋駅で自殺防止の呼びかけ、東京荒川の佐渡おけさ祭り、松江東のしじみ採り、松戸西の危険ドラック撲滅運動等々。その他、日本酒を世界に広めようと頑張っている二戸は南部美人の五代目蔵元のスピーチ (P.73~69) 足利市の特集 (P.68~65) もおらが自慢が微笑ましいです。

最後に開会まであと半年を切ったソウル国際大会 (5月29日~6月1日) が様々な形で特集されています (ツアープログラム P.22~23、ソウルの自然 P.34~35、ツアー広告 P.40~42)。チェジュ島や李王朝の宮廷巡り等の魅力的なプログラム、そして周辺国の観光と組み合わせた魅力的な旅行コースは14万円代~40万円代まで。何故かベトナムやモンゴル、スリランカ観光との組み合わせもあります。